

## 第一回新しい資本主義実現会議提出資料

令和3年10月26日

(株) シナモン 代表取締役社長 CEO 平野未来

新しい資本主義実現本部の下、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとした新しい資本主義を実現していくため、それに向けたビジョンを示し、その具体化を進めるため、以下の問いかけと実現のヒントとなる内容を付議したく、「資本主義をアップデートする挑戦」という視点でまとめたものである。

1) 成長の定義を、Inclusive Wealth（経済資本+人的資本+自然資本）としては

いかがか

新しい資本主義の実現においては、GDPの追求だけでは限界があり、短期的な経済発展のみならず、持続可能性にも焦点を当て、多様な資本の充実を図り、心の豊かさや成長の持続可能性を実現すべき。成長の定義をより広範なものとする議論が必要と考える。

## 2) あらゆる多様性の増大を目指すことが重要ではないか

人材の多様性、働き方を含むライフスタイルの多様性、生物多様性。成長やイノベーションの促進の観点と、分配を円滑に遂行するためにより多様な人材、働き方、価値観を包摂しうるインクルーシブな社会の実現が肝要。

## 3) レジリエンスの最大化

日本においては地震、噴火、台風など自然災害が不可避である。さらにパンデミックリスク、地政学的リスクが増大している。レジリエンスに真正面から向き合うことが重要。また、気候変動の影響をうけつつあるという世界的視野に立てば、この領域で新たな成長の源泉として、我が国がリーダーシップをとれる可能性が存在している。

## 4) 新しい成長の根源としての ESG・SDGs、等を AI で加速するシナリオが必要

日本の AI 活用はいまだコスト削減として捉えられている。ESG・SDGs 等は、

もはや犠牲的出費ではなく、成長の源泉となっている。企業のパーパスと、それを  
実現し成長につなげる諸外国に追いつくべく AI の戦略的な活用を推進すべ  
き。

5) 国内人口減少を前提に、人口増加傾向にあるアジアの成長を日本の成長と分  
配に繋げる施策が要。

アジアの新興・途上国では、引き続き高い成長を示している。日本の成長と分配  
の実現に、アジアの成長と高度人材を取り込んでいくことは必然である。私たち  
の会社でも、ベトナムと台湾に人工知能研究所を持ち、アジアの優秀な人材と最  
先端の AI 開発に取り組んでいる。

以上